

## 高梁川流域圏・備後圏域インバウンド向け観光コンテンツ造成事業事業者評価委員会設置要領

### (目的及び設置)

第1条 高梁川流域圏・備後圏域インバウンド向け観光コンテンツ造成事業を実施するに当たって、プロポーザル方式の審査及び評価を厳正かつ公正に行うため、高梁川流域圏・備後圏域インバウンド向け観光コンテンツ造成事業事業者評価委員会（以下「評価委員会」という。）を設置する。

### (所掌事務)

第2条 評価委員会は、次の各号に掲げる事項を処理する。

- (1) 企画提案の審査及び評価に関すること。
- (2) その他前条の目的を達成するために必要な事項に関すること。

### (組織)

第3条 評価委員会は、委員6人をもって組織する。

2 委員は、次に掲げる者をもって充てる。

- (1) 福山市経済環境局文化観光振興部長
- (2) 倉敷市文化産業局文化観光部長
- (3) 福山市経済環境局文化観光振興部観光戦略課長
- (4) 倉敷市文化産業局文化観光部副参事兼観光課長
- (5) 公益社団法人福山観光コンベンション協会専務理事
- (6) 倉敷観光コンベンションビューロー 専務理事

### (評価委員長)

第4条 評価委員会に評価委員長1人を置き、評価委員長は、福山市経済環境局文化観光振興部長とする。

2 評価委員長は、評価委員会を代表し、会務を総理する。

3 評価委員長に事故があるとき、又は評価委員長が欠けたときは、評価委員長があらかじめ指名する委員がその職務を代理する。

### (会議)

第5条 評価委員会の会議は、評価委員長が招集する。

2 委員会は、委員の過半数が出席しなければ会議を開くことができない。

3 委員がやむを得ない事情により出席できない場合は、代理人を選出し、代理出席できるものとする。

4 会議の議事は、出席した委員の過半数で決し、可否同数のときは評価委員長の決するところによる。

5 評価委員会は、必要に応じ、委員以外の者の出席を求めて、説明又は意見を聞くことができる。

6 会議は、非公開とする。

### (委員等の責務)

第6条 委員及び会議に出席した者は、審査の過程において知り得た情報を他に漏らしてはならない。その職を退いた後も、また同様とする。

### (委員会の庶務)

第7条 評価委員会の庶務は、公益社団法人福山観光コンベンション協会事務局において処理する。

### (委任)

第8条 この要領に定めるもののほか、評価委員会に関し必要な事項は、評価委員長が別に定める。

### 附 則

この要領は、2024年6月27日から施行し、高梁川流域圏・備後圏域インバウンド向け観光コンテンツ造成事業委託の契約が締結された日をもって失効する。